



# 天文資料

2022年 4月号

令和4年度 第1号 (4月号)

令和4年3月26日

発行：佐世保市少年科学館

佐世保市少年科学館



## <惑星の接近ショーを観察しよう！>

そら くら よい じかんたい つきはじ  
空が暗くなった宵の時間帯、月初め

ふゆ あか ほしほし みなみ にし  
は、まだ冬の明るい星々が南から西の

そら めだ げじゆん はる ほしほし  
空で目立ちます。下旬になると春の星々

みなみ ひがし そら かざ  
が南から東の空を飾るようになります。

にち とうほうさいだいいりかく すいせい  
29日に東方最大離角となる水星が、

ぜんご きかん ゆうがた にし そら ことし  
この前後の期間に夕方の西の空で今年

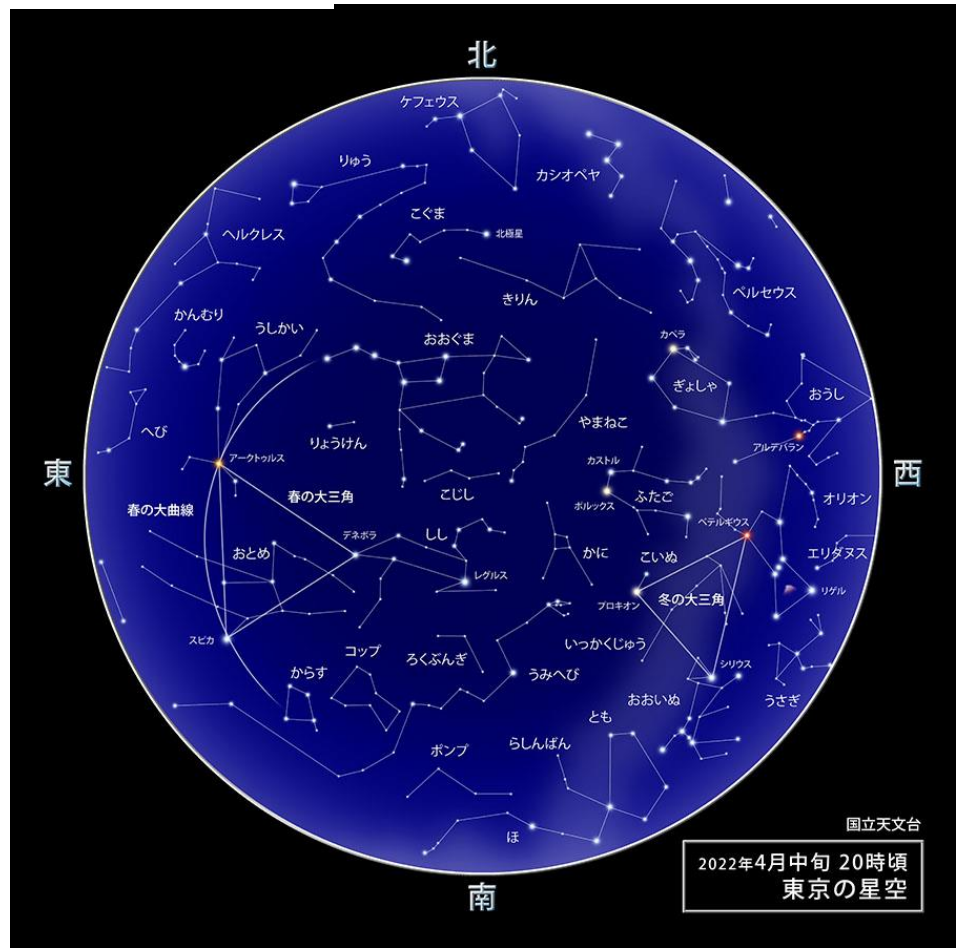
いちばん かんさつ むか  
一番の観察チャンスを迎えます。

あ がた ひがし そら きんせい かせい  
明け方の東の空では、金星、火星、

どせい わくせい なら か かせい  
土星の3惑星が並び、5日には火星と

どせい せつきん げじゆん  
土星が接近します。下旬になると、さらに

もくせい くわ にち にち  
木星が加わります。25日から28日にか



つき どせい かせい きんせい もくせい つぎつぎ せつきん あ がた そら  
けては、月が、土星、火星、金星、木星と次々に接近し、にぎやかな明け方の空となりそうです。

ついたち きん しんげつ いつ か か せいめい たいようこうけい ど  
・1日(金) 新月 ・5日(火) 清明(太陽黄経15度)

このか ど じょうげん  
・9日(土) 上弦

にち にち どよう い たいようこうけい ど まんげつ  
・17日(日) 土用の入り(太陽黄経27度)/満月

はつか すい こくう たいようこうけい ど  
・20日(水) 穀雨(太陽黄経30度)

にち ど かげん じごろ ざりゅうせいぐん きよくだい みごろ にちしんや にちみめい  
・23日(土) 下弦/4時頃、こと座流星群が極大(見頃は22日深夜~23日未明。

じかん こていど つき じょうげん わる  
1時間に5個程度。月の条件はやや悪い)

にち きん しょうわ ひ すいせい とうほうさいだいいりかく  
・29日(金) 昭和の日/水星が東方最大離角



## <黄道について>

ひ で にちぼつ ちよくぜん ちよくご たいよう はいけい ほし かんけい いち かんさつ たいよう ほし あいだ  
日の出や日没の直前・直後に太陽と背景の星との関係位置を観察すると、太陽が星の間を  
まいにち ひがし いどう ねんご てん もと いち もどる み たいよう  
毎日すこしずつ東へ移動し、1年後にふたたび天の元の位置へ戻ることが見られる。太陽の  
てんきゅうじょう うんどうけいろ だいえん てんきゅうめんじょう えが さいだい えん こうどう  
地球上におけるこの運動径路は大円(天球面上に描くことのできる最大の円)でこれを黄道とい  
う。(春分の日太陽の位置を太陽黄経0度とする。)